

69, 1950), 中根博士の図説(1963), その他割合多く図説があるので一般に良く知られている種である。分布は本州, 四国, 九州である。

兵庫県下でも広く分布し割合普通に得られる。幼虫は板状で水棲である。

産地: 三原郡猪ノ鼻川中流域〔久松, 1974〕。川西市見野, 大和〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市鳥原 (1ex., 12-VI-1976), 垂水〔竹中, 1935〕。加西市畑 (1ex., 29-VI-1974, 2exs., 13-VIII-1974, 3exs., 27-VII-1974)。三木市内 (1ex., 28-VIII-1978)。加古川流域〔西村, 原, 1974〕。多紀郡篠山〔後藤, 1963〕。氷上郡〔山本, 1952, 1958〕。出石郡出石町暮坂〔高橋, 1963〕。豊岡市堀川橋〔高橋, 1975〕。城崎郡円山川流域〔西村他, 1975〕。

5. *Psephenoides japonicus* Masuda, 1935

マスダチビヒラタドロムシ

Masuda 氏により Kyoto 産で記載された種である (Trans. Kansai Ent. Soc. No.6, p.9, 1935)。

中根博士によって図説されている(1963)が特異な形状をしているので同定には困らないと考えられる。兵庫県下での記録は大変少ない。

産地: 川西市大和〔仲田, 1979, 1982〕。加古川流域〔西村, 東, 1974〕。氷上郡柏原〔山本, 1952, 1958〕。城崎郡円山川水系〔西村他, 1975〕。

以上兵庫県産ナガハナノミ科7属9種, ヒラタドロムシ科3属5種を記録したが始めに記したように全く資料不足で個々の種の県下の分布状況も良くわからないし、全般的にもっと分布種が他にもいそうに思われるが一般に水棲甲虫関係の調査が出来ていないように考えられこの方面での今後の調査の必要性が痛感される。

(1984年11月)

(S.45: Toshio Takahashi 神戸市)



兵庫県に於けるエゾスジグロシロチョウの新しい産地

広畑 政 己

兵庫県に於けるエゾスジグロシロチョウの分布については広畑(1981)にその概要を報告しているが、その後の調査によって4ヶ所の新しい産地を発見したので報告しておきたい。

これまで県下では40数ヶ所の産地が知られているが、本種は近似種のスジグロシロチョウと酷似するので、スジグロシロチョウとして採集された個体の中に本種が混っているケースも多く、もっと多くの産地があるものと思われる。

この度見つかったのは市川流域の大河内町、福崎町、市川町の各町で、市川町小室、大河内町淵では市川の河原がその生息場所となっている。

県下では山地より平地の方が産地が多く、河原というのは上記2産地の他には同じ市川河原の生野町川尻がある。これらの産地では川原に生育するアブラナ科植物(スズシロソウと思われるが未同定)が食草となっている。このアブラナ科の食草は市川上流の生野町から中流の福崎町まで確認しており、たぶん下流までであると思われるので、姫路までの市川の河原をよく調べれば産地も発見できると思われる。

新しい産地の内、他の2ヶ所は福崎町の山崎と大倉山で、ここではスジグロシロチョウと混生している。山崎では採集している22頭中ほぼ3分の1の8頭が本種で、大倉山ではそれぞれ1頭づつ採集されている。これらの産地はいずれも標高100m以下の平地である。

1化の発生は早く、上記産地の内福崎町では3月下旬に始まり、4月の中旬まで採集記録がある。市川町小室、大河内町淵では5月上旬にも採集しているので、だらだらと発生するようである。発表に際し、採集記録を御提供いただいた石井為久氏と調査に御協力下さった近藤伸一氏にお礼申し上げる。

〈採集記録〉

神崎郡大河内町淵	2♂	29-IV-1984	広畑政己
市川町小室	1♂1♀	3-V-1984	広畑政己
福崎町山崎	3♂	28-IV-1982	石井為久
大倉山	1♂	6-IV-1975	石井為久

〈参考文献〉

広畑政己(1981)兵庫県産蝶類分布資料(1) てんとうむし(7): 32-33
(S28: Masami Hirohata 〒671-22 姫路市)